

## 保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください

品名：ルームサイド  
製品型番：YW9163  
保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：  
お名前：  
電話番号：

販売店住所：  
店名：  
電話番号：

販売店様へ  
ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、貴店住所、貴店名など）をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しください。

よくくにさんぎょう  
輸入・発売元：株式会社 芳国産業  
電話番号：03-3843-7841（お客様相談室係）  
郵便番号：111-0043  
住所：東京都台東区駒形2-4-11

（受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで）

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名（ルームサイド）もしくは製品型番（YW9163）をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

## アフターサービス

- ▼取扱説明書内の『故障かな？と思ったら』（裏面）を確認しても直らない場合はお求めの販売店、もしくは弊社「お客様相談室係」までご相談ください。
- ▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。
- ▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料修理を承ります。
- ▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類品の代替品を使用する場合があります。

## 無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくこととお約束するものです。
- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただくか弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
  - ご購入後、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼出来ない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
  - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
    - ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
    - お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
    - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
    - 一般家庭以外（例えば業務用などの長時間使用など）でのご使用による故障や損傷。
    - 本書のご提示がない場合。
    - 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
    - 取扱説明書内の『**当製品の使用場所について**』に記載されているような場所でご使用されたり、保管をした場合。
- ※ 運賃、諸掛費用は基本的にお客様にてご負担いただきます。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is valid only in Japan.
  - この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  - お客様にご記入いただいた保証書個人情報、修理・サービスに利用させていただく場合がございます。
  - お買い上げ後、1年を超えてご使用されない製品をはじめにご使用される際に、万が一不具合があった場合は有料修理となります。

by LANDEX

## コチコチ音がしない、電波掛け時計

ルームサイド  
商品名

## 取扱説明書（保証書付）

⚠ 当製品はガラスを使用いたしております。ガラスが破損する  
△注意 とけがの原因となりますので、取扱いに十分ご注意ください。



この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

▼この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。  
▼当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

IM No. YW9163

## 製品仕様

商品名：ルームサイド  
製品型番：YW9163  
使用環境温度：+5℃～+40℃  
本体サイズ：314(幅)×314(高さ)×50(奥行)mm  
本体重量：約595g（付属品を除く）

時間精度（常温中）：±1秒/月（標準時刻電波の受信に成功した直後）  
±60秒/月（標準時刻電波を受信していない場合）  
受信時間（1回あたり）：約4～16分  
自動受信：午前1時3分、午前3時3分、午前5時3分、午前7時3分、午後1時3分、午後3時3分、午後5時3分、午後7時3分（自動受信中は、秒針が文字盤上の数字“12”の位置に停止いたします）。

電源：単3型乾電池1本（アルカリ乾電池推奨）  
電池寿命：約10ヶ月（アルカリ電池でご使用いただいた場合。標準時刻電波の受信状況、ご使用状況などにより前後いたします）  
付属品：単3型乾電池1本（お試用）、取扱説明書（保証書付）⇒本書  
主な機能：・標準時刻電波受信・電波受信“オフ”機能・秒針停止機能（プログラム式）・標準時刻電波自動受信機能

主な材質：プラスチック、ガラス  
生産国：中国

- ▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
- ▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。

## お手入れについて

- 本体の汚れは水洗いせず、スポンジかやわらかい布に家庭用の中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ▼ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使わないでください。
- ▼静電気などにより、当製品を掛けて使用した際に壁面が汚れる場合がありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 当製品、電池、梱包材などの廃棄

- ・お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
- ・当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

## 電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準時刻電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準時刻電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おたかどや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の県境「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信出来ない場合がございます。その場合はクオーツ時計としてこの取扱説明書の製品仕様に記載された精度（標準時刻電波を受信していない場合）で作動します。

標準時刻電波、標準時刻電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。  
〈国立研究開発法人情報通信研究機構〉  
<http://ijy.nict.go.jp/>



- ▼標準時刻電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。
- ▼上記 URL は予告なく変更される場合があります。

## 電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準時刻電波を受信出来ない場合があります。

- マンションやビルなどの地下
- 高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く
- 電化製品やOA機器の近く

- 自動車、電車、飛行機などの乗りものの中
- 金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準時刻電波の入りが悪い所。

## 標準時刻電波の受信について

### 標準時刻電波の受信をしない場合

⇒電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。

⇒電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください（夜間は昼間と比較して、標準時刻電波の受信に成功しやすい傾向があります）。



標準時刻電波を受信しにくい場合  
電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。



ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合  
受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所での使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

## 安全上のご注意（必ず守ってください）

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方でより生じる損害や危害の程度を区分する記号

⚠ 警告	人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。

必ずお守りいただく行為（強制）と禁止行為を区分する記号

⚠	必ず守らなければいけない行為（強制）を示す記号です。
🚫	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。

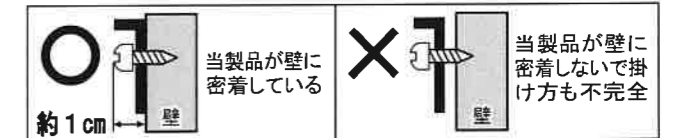
- ▼電池について
  - ⚠ 警告 分解、ショート（短絡）などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしないでください。
  - ⚠ 警告 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。
  - ⚠ 注意 ・プラス（+）、マイナス（-）の方向を正しく入れてください。  
・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
  - ⚠ 注意 電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
  - ⚠ 注意 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
  - ⚠ 注意 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。
  - ⚠ 注意 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。
  - ⚠ 注意 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。

- ▼誤飲による事故防止について
  - ⚠ 警告 電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。
- ▼梱包用袋について
  - ⚠ 警告 梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ▼分解禁止について
  - ⚠ 注意 当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。

## 時計の掛け方、掛け金具について

⚠ 当製品を掛ける壁などの材質や構造をよくご確認のうえ、当製品の△警告 重さに十分耐えることが出来る掛け金具を必ずお選びください。

【当製品の掛け方】  
当製品を壁などに掛けるときは、必ず平らな垂直面に取付けてください。取付けた後に、当製品を上下左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。掛け方が不十分な場合、当製品が落下し、ケガや破損の原因となります。

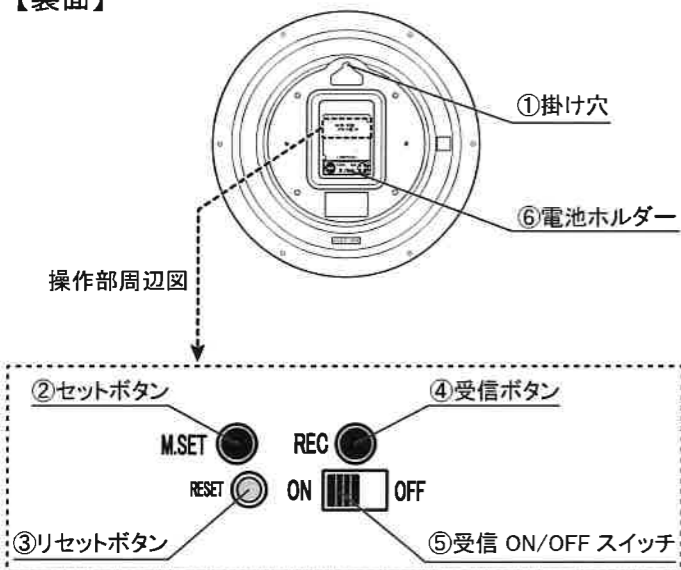


## 当製品の使用場所について

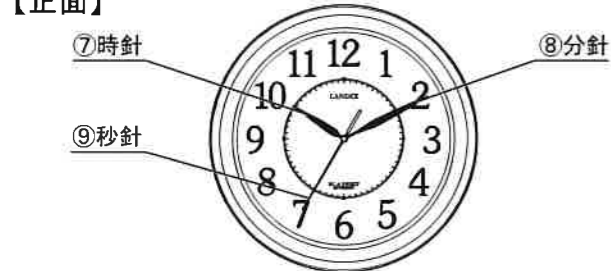
- 下記のような所では使用や保管をしないでください。
  - ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
  - ・温度が+5℃より下になる所。
  - ・ほこりや塵が多い所。
  - ・湿気が多い所（加湿器の蒸気があたる所など）、水が直接掛かる所（当製品は防水ではありません）。
  - ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
  - ・多くの油を使用する所。
  - ・当製品が倒れたり、落ちたりするような不安定な所。
  - ・ビニール系素材の敷物の上や壁など（敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります）。
  - ・幼児の手が届く所。
  - ・防虫剤やアロランプなどのすぐそば。

## 各部の名称

### 【裏面】



### 【正面】



※時計イラストの時刻表示は一例です。

#### ①掛け穴

当製品を壁に掛けるときに掛け金具を使用して固定をする場所です。

#### ②セットボタン

手で時刻を設定するときに使用するボタンです。

#### ③リセットボタン

当製品を初期状態にするためのボタンです。当製品の状態が不安定と思われる場合に先の細い棒などで1回押してください。

▼「③リセットボタン」を先の細い棒などで押すときに手や指などをケガしないよう、十分ご注意ください。

▼「③リセットボタン」を操作するときは無理に力を加えたり、力を加えて押し続けたりしないでください。当製品の故障などの原因となる場合があります。

#### ④受信ボタン

任意のタイミングで、標準時刻電波の受信を行うためのボタンです。

#### ⑤受信 ON/OFF スイッチ

標準時刻電波の受信を行う状態と、行わない状態を切替えるためのスイッチです。標準時刻電波の受信を行う状態にする場合は「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせます。標準時刻電波の受信を行わない状態にする場合は、「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせます。

#### ⑥電池ホルダー

電池を入れる場所です。

#### ⑦時計

時刻の“時”を示す針です。

#### ⑧分針

時計の“分”を示す針です。

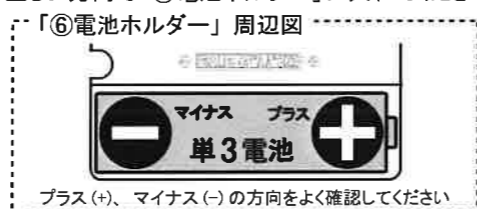
#### ⑨秒針

時刻の“秒”を示す針です。

## ご使用方法

### 【1】電池を入れる

「⑤受信 ON/OFF スイッチ」が“ON”の位置にあることを確認（「⑤受信 ON/OFF スイッチ」が“OFF”の位置にある場合は、“ON”の位置に切替えてください）し、単3型乾電池1本を「⑥電池ホルダー」に電池を入れます。電池を入れる際はプラス（+）とマイナス（-）の方向をよく確認し、必ず正しい方向で「⑥電池ホルダー」に入れてください。



▼付属の電池は工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。

▼電池のプラス（+）、マイナス（-）を間違った方向に入れ、放置しないでください。当製品の故障の原因となる場合や、電池の発熱、液もれなどの原因となります。

▼充電電池は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に作動しない場合がありますので、ご使用しないでください。

▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。

▼電池交換の際はアルカリ単3型乾電池をおすすめいたします。

▼標準時刻電波の受信を行わないでご使用をいただく場合は、「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせてから、「⑥電池ホルダー」に電池を入れてください。電池を入れると「⑨秒針」、「⑧分針」、「⑦時計」が動きはじめ、全ての時計針が“12時”の位置で一旦停止してすぐに「⑨秒針」が動きはじめます。任意の時刻を設定する際は、『【6】手動で任意の時刻に合わせる』をご参照ください。「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせてご使用いただくと、当製品は通常のクォーツ時計としてご使用いただけます。時刻を任意にずらしてご使用される場合や、標準時刻電波の受信環境が不安定と思われる場所で標準時刻電波を受信させずにご使用になる場合は、「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせてご使用ください。

### 【2】標準時刻電波の受信をはじめ

「⑤受信 ON/OFF スイッチ」が“ON”の位置にある状態で、「⑥電池ホルダー」に電池を入れると、「⑨秒針」、「⑧分針」、「⑦時計」が動きはじめ、全ての時計針が“12時”の位置で一旦停止し、標準時刻電波の受信を自動的に開始いたします。

▼標準時刻電波の受信を正しく行うために、この取扱説明書内に記載されている、『電波時計の使用場所について（裏面）』および『標準時刻電波の受信について（裏面）』をご参照ください。

▼受信中は当製品を動かさしないでください。受信中に当製品を動かすと、標準時刻電波を正しく受信出来ない場合があります。

▼当製品が標準時刻電波の受信に要する時間は、標準時刻電波の受信状態（全ての時計針が“12時”の位置で一旦停止した状態）となつてから、約4分～約16分です。この間に標準時刻電波の受信に成功しない場合（現在時刻を表示しない）は、この取扱説明書内の『【3】受信結果を確認する』の『×受信失敗』をご参照ください。

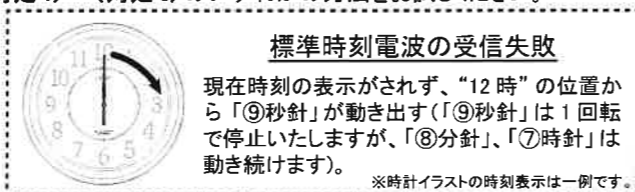
### 【3】受信結果を確認する

#### ○受信成功

標準時刻電波の受信に成功すると「⑨秒針」、「⑧分針」、「⑦時計」が自動的に動きはじめ、現在時刻を表示いたします。

#### ×受信失敗

標準時刻電波の受信に失敗すると、“12時”の位置から「⑨秒針」が動きはじめます（「⑨秒針」は1回転した後に停止いたしますが、「⑧分針」、「⑦時計」はそのまま動き続けます）。このような場合は後述の（対処1）～（対処3）のいずれかの方法をお試しください。



#### （対処1）

この取扱説明書内に記載されている、『電波時計の使用場所について（裏面）』および『標準時刻電波の受信について（裏面）』を確認し、受信しやすい場所で再度受信を試みる。

#### （対処2）

一昼夜様子を見る（昼間は標準時刻電波の受信を阻害する電波が存在する場合があります。夜間は昼間と比べて標準時刻電波の受信を阻害する電波が少ないため、受信しやすい環境になる傾向があります）。

**夜間は昼間と比較して、電波を受信しやすい傾向があります**

#### （対処3）

『【6】手動で任意の時刻に合わせる』を参照し、手動で時刻設定を行います。当製品には標準時刻電波を自動で受信する、“自動受信機能”がついておきますので、受信環境が良い場合、手動で設定された時刻が自動的に補正されます（「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせている場合）。

#### 【4】自動受信機能について

「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせてご使用いただくことで、標準時刻電波の受信を自動的に実行し、時刻補正を定期的に行う「自動受信機能」が当製品にはついておきます。自動受信を行う時刻はあらかじめ設定されており、受信に成功した場合、表示される時刻の補正を行います。

#### 自動受信を行う時刻（8回/24時間中）

午前1時3分、午前3時3分、午前5時3分、午前7時3分  
午後1時3分、午後3時3分、午後5時3分、午後7時3分

▼「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせてご使用いただく場合、“自動受信機能”を解除することは出来ません。

▼“自動受信機能”の設定時刻を変更することは出来ません。

▼“自動受信機能”による標準時刻電波の受信中は、「⑨秒針」が自動的に“12時”の位置で停止いたします（“秒針停止機能”により、「⑨秒針」が停止していない状態にある場合において、“秒針停止機能”が有効な場合は、「⑨秒針」があらかじめ停止した状態で“自動受信機能”による標準時刻電波の受信を開始いたします。“秒針停止機能”につきましては、『【7】秒針停止機能について』をご参照ください）。

▼“自動受信機能”による標準時刻電波の受信に要する時間は約4分～約16分です（正しく受信を行うために、受信中は当製品を動かしたり、操作をしりしないでください）。

▼“自動受信機能”による標準時刻電波の受信中でも、「⑧分針」、「⑦時計」が作動し、表示時刻は進みます。

**自動受信中は「⑨秒針」が“12時”の位置で停止いたします。**

### 【5】手動で標準時刻電波の受信を行う

「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせてご使用いただいている場合、当製品は「④受信ボタン」を操作することで、手動で標準時刻電波の受信を行うことができます。「④受信ボタン」を約4秒間押し続けると、「⑨秒針」が“12時”の位置で自動的に停止し、標準時刻電波の受信を開始いたします。受信に成功した場合、表示される時刻の補正が行われます。



▼手動操作による標準時刻電波の受信中でも、「⑧分針」、「⑦時計」が作動し、時刻が進みます。

▼標準時刻電波の受信に失敗すると、時刻の補正はいたしません。

▼標準時刻電波の受信に要する時間は、約4分～約16分です（正しく受信を行うために、受信中は当製品を動かしたり、操作をしりしないでください）。

▼“秒針停止機能”が有効な場合は、「⑨秒針」があらかじめ停止した状態で標準時刻電波の受信を開始いたします（“秒針停止機能”については、『【7】秒針停止機能について』をご参照ください）。

### 【6】手動で任意の時刻に合わせる

当製品は手動操作により、任意の時刻に合わせることが出来ます。「②セットボタン」を約4秒間押し続けると、「⑨秒針」が停止（標準時刻電波の受信中や、“秒針停止機能”が有効な場合は、「⑨秒針」があらかじめ“12時”の位置で停止しております）し、手動で時刻を合わせる状態になります。その状態で「②セットボタン」を1回押すと、表示時刻が1分進み、「②セットボタン」を長押し（約1秒）すると、時刻が早回しで進みます。



▼手動操作で表示時刻を設定している状態で、何も操作をしない状況が約30秒以上続くと、自動的に表示時刻が確定いたします。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理やお問合せいただく前に以下をご確認ください

現象(例)：時計が動かない

想定される状況	対処方法(例)
電池が入っていない	電池を入れてからのご使用をお願いします
電池を入れる方向があっていない	電池の方向をよくご確認ください
電池の容量が少なくなっている	新しい電池に交換し、様子みてください
静電気などの影響による誤動作	「③リセットボタン」を押して、様子みてください

現象(例)：時間が合わない

想定される状況	対処方法(例)
標準時刻電波を受信しにくい環境にある	取扱説明書内の『電波時計の使用場所について(裏面)』および『標準時刻電波の受信について(裏面)』を確認し、受信しやすい場所で再度お試しください
電池の容量が少なくなっている	新しい電池に交換し、様子みてください
「⑤受信 ON/OFF スイッチ」が“OFF”の位置に合せてある	「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“ON”の位置に合わせて、再度受信させてください

現象(例)：秒針が動かない

想定される状況	対処方法(例)
“秒針停止機能”中である	取扱説明書内の『【7】秒針停止機能について』をご参照ください
自動受信中である	取扱説明書内の『【4】自動受信機能について』をご参照ください

現象(例)：当製品の操作が出来ない

想定される状況	対処方法(例)
静電気などの影響による誤動作	「③リセットボタン」を押して、様子みるか、電池を取り外し、しばらく経ってから電池を入れ直し、様子みてください

▼手動操作で表示時刻を設定している状態で、「④受信ボタン」を1回押すと、表示時刻が確定し、「⑨秒針」が動きはじめます（“秒針停止機能”が有効な場合を除く）。テレビやラジオなどの時報を参考に、「④受信ボタン」を操作することで、時刻の秒まで合わせることが可能です。

▼“秒針停止機能”が有効な場合は、「⑨秒針」があらかじめ停止したまま、手動操作で表示時刻を設定する状態になります（“秒針停止機能”については、『【7】秒針停止機能について』をご参照ください）。

### 【7】秒針停止機能について

当製品には、午後10時から午前6時まで自動的に秒針が停止する“秒針停止機能”がついておきます。“秒針停止機能”中は「⑨秒針」が“12時”の位置で自動的に停止いたします。

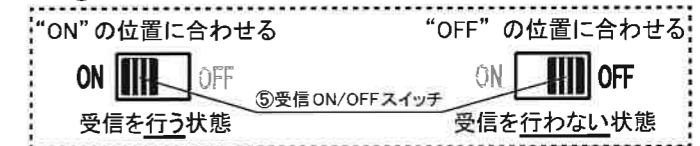
▼“秒針停止機能”中でも、「⑧分針」、「⑦時計」が作動し、表示時刻は進みます。

▼「⑨秒針」が停止することで、電池の使用量が削減されます。

▼“秒針停止機能”を解除することは出来ません。

### 【8】標準時刻電波の受信を行わないご使用について

当製品は標準時刻電波の受信を行わずに使用することが出来ます。「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”にすると、標準時刻電波の受信を行わず、通常のクォーツ時計としてご使用いただけます。時刻を任意にずらしてご使用される場合や、標準時刻電波の受信環境が不安定と思われる場所で標準時刻電波の受信をさせずにご使用になる場合は、「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせてください。



▼「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置に合わせてご使用いただく場合、“自動受信機能”は取り消されます。

▼「⑤受信 ON/OFF スイッチ」を“OFF”の位置から“ON”の位置に切替えた場合、自動的に標準時刻電波の受信を開始いたします（「⑨秒針」が“12時”の位置で停止し、受信を開始いたします）。

### 【9】当製品を壁などに掛けてご使用される

取扱説明書内の『時計の掛け方、掛け金具について（裏面）』をよくお読みいただき、掛け金具などに当製品の「①掛け穴」がしっかりと確実に掛かっていることをよく確認してください。